



医療法人大泉会

年報

令和7年度（2025年度）

第5号

医療法人 大泉会
大仙病院
大泉会介護支援センター
いずみ訪問看護ステーション

目次

I. 概況

- 1 院内組織図
- 2 概要
- 3 沿革
- 4 理念・基本方針
- 5 委員会組織図

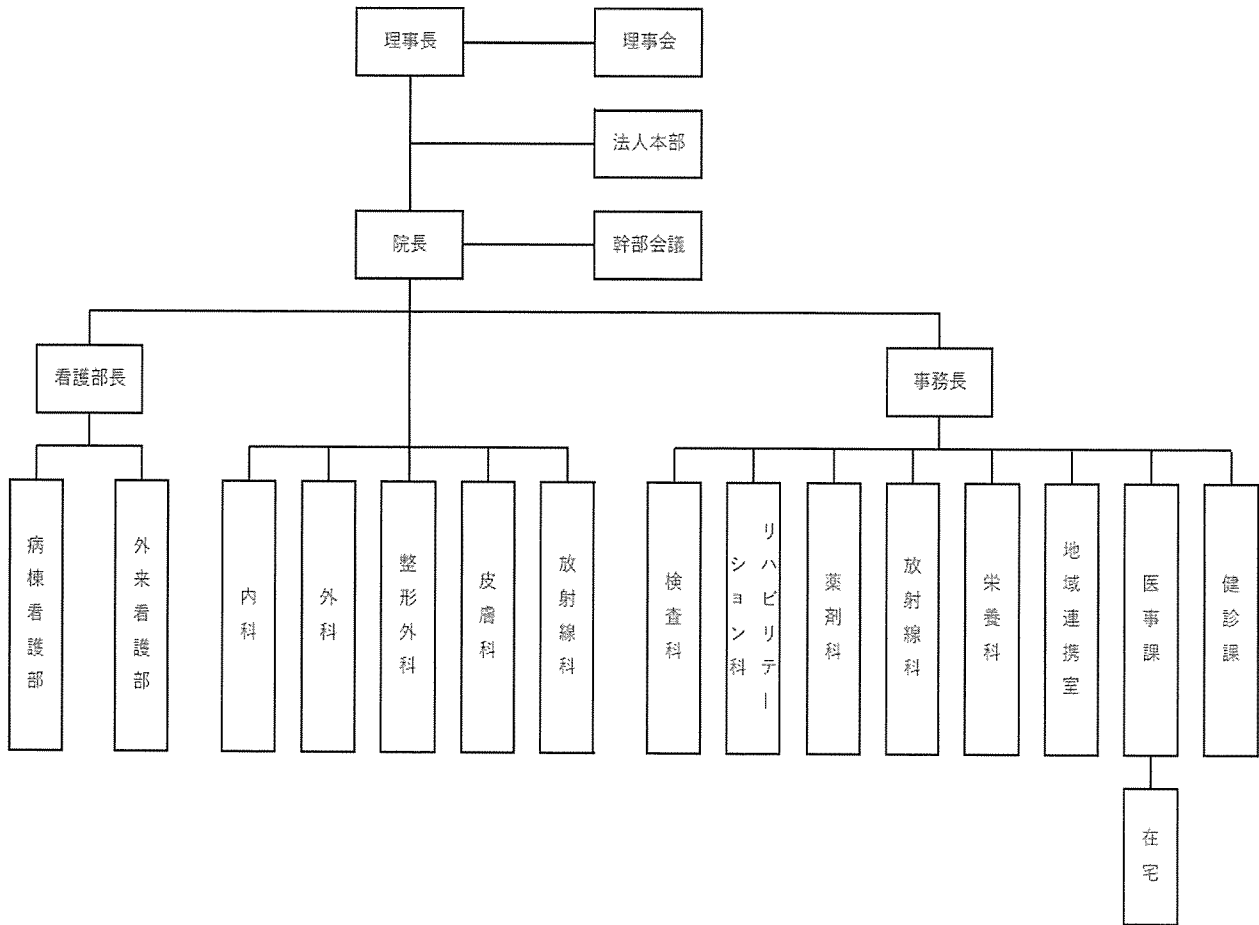
II. 現況

- 1 各種統計

III. 各部門現況

- 1 医局
- 2 病棟
- 3 外来
- 4 薬剤科
- 5 放射線科
- 6 検査科
- 7 リハビリテーション科
- 8 栄養科
- 9 地域連携室
- 10 医事課
- 11 健診課
- 12 支援センター
- 13 訪問看護ステーション

医療法人大泉会 大仙病院 組織図



概要

住所 〒593-8302 堺市西区北条町1丁2番31号

電話番号 072-278-2921

FAX番号 072-278-2925

診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 糖尿病内科
外科 心臓血管外科 肛門外科
整形外科 リハビリテーション科
皮膚科 形成外科 放射線診断科
訪問診療・在宅診療 企業健診・出張健診
健康診断・人間ドック 各種予防接種

病床数 一般病床30床(地域包括ケア病床29床)

開設日 昭和44年 1月 4日

グループ施設 いずみクリニック
いずみ訪問看護ステーション
大泉会介護支援センター
介護老人保健施設 だいせん
介護老人保健施設 くろいし
介護老人保健施設 うえのしば
介護付き有料老人ホーム むこうがおか



医療法人大泉会

沿革

昭和43(1968)年01月	医療法人大泉会 設立
昭和44(1969)年01月	大仙病院 開設 (51床)
昭和55(1980)年06月	病床数を46床増床し、97床とする
昭和59(1984)年11月	佐々木徳太郎 理事長に就任
平成06(1994)年08月	佐々木甫 理事長に就任
平成08(1996)年04月	給食業務を外部委託
平成08(1996)年11月	外来調剤業務を院外薬局へ移行 いずみ訪問看護ステーション開設
平成09(1997)年01月	第1期改装工事完成 (一般病床38床、療養病床59床へ転換)
平成10(1998)年06月	第2期改装工事 (外来) 完成
平成12(2000)年01月	第3期改装工事完成 (病棟)
平成12(2000)年02月	いずみクリニック (19床) 開設 一般病床31床、療養病床66床へ転換
平成12(2000)年03月	第4期改装工事完成 (病棟)
平成12(2000)年04月	一般病床31床、医療療養54床、介護療養12床へ転換 大泉会介護支援センター開設
平成14(2002)年02月	一般病床31床、医療療養30床、介護療養36床へ転換
平成14(2002)年12月	一般病床30床、医療療養13床、介護療養54床へ転換
平成15(2003)年11月	介護老人保健施設だいせん開設
平成16(2004)年04月	介護老人保健施設くろいし開設
平成18(2006)年04月	一般病床看護基準13:1へ変更
平成19(2007)年12月	一般病床30床、介護療養67床へ転換
平成22(2010)年04月	介護老人保健施設うえのしば開設 一般病床30床へ減床
平成22(2010)年12月	第5期改装工事完成 (病棟)
平成25(2013)年04月	サービス付高齢者向け住宅むこうがおか開設
平成26(2014)年05月	一般病床看護基準10:1へ変更
令和元(2019)年07月	敷地内禁煙
令和02(2020)年04月	一般病床30床うち6床を地域包括ケア病床へ変更
令和03(2021)年12月	佐々木徳之 理事長に就任
令和04(2022)年04月	介護付き有料老人ホームむこうがおかへ改称
令和05(2022)年06月	日本医療機能評価機構認定病院となる
令和06(2023)年04月	電子カルテ導入
令和06(2023)年06月	一般病床24床うち18床を地域包括ケア病床へ変更
令和07(2024)年06月	一般病床6床うち5床を地域包括ケア病床へ変更

理念・基本方針

理念

私たちは、安心・安全な医療を実践し、
地域の皆様に満足いただける笑顔とサービスを提供します。

基本方針

- 1.患者様の人格と尊厳を尊重し、十分な説明と同意に基づいた
医療を行います。

- 2.地域の皆様の健康維持・増進のために他の医療機関と連携し、
地域に根付いた医療・看護・介護・福祉サービスを目指します。

- 3.在宅療養支援病院として、地域包括ケアシステムの構築のため、
医療・看護・介護・福祉が一体的に提供できる体制を目指します。

- 4.よりよい医療サービス提供のため自己研鑽に取り組み、
医療の質の向上を目指します。

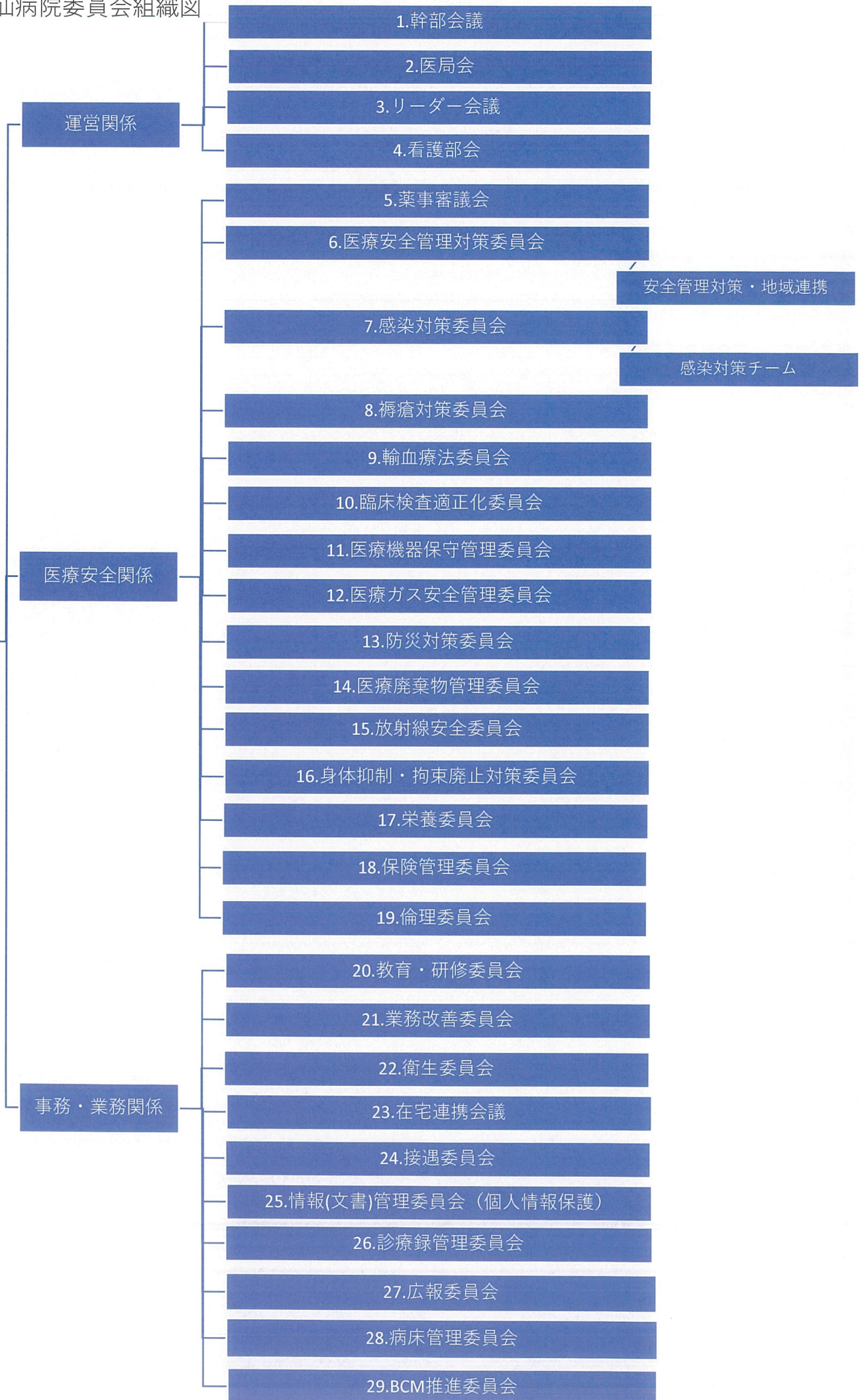


医療法人大泉会

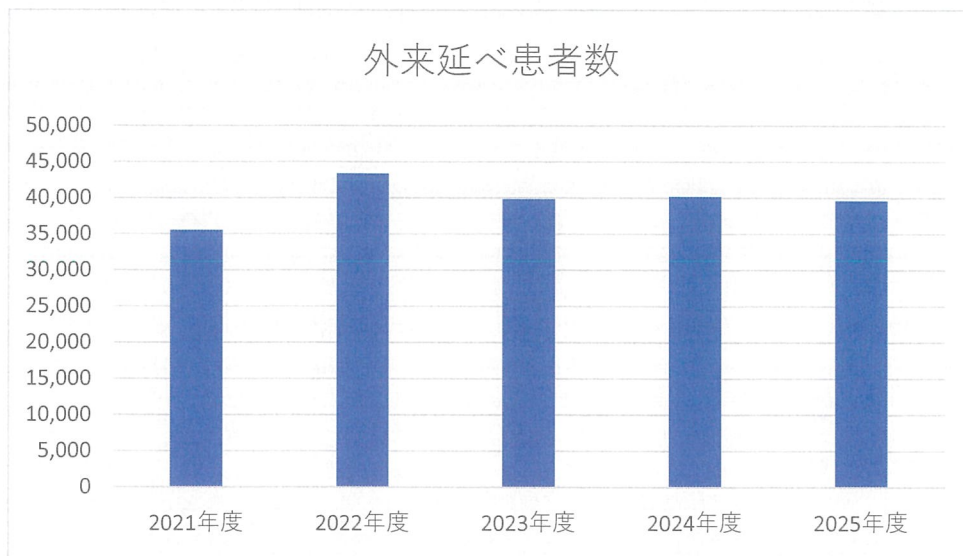
医療法人 大泉会 大仙病院

大仙病院委員会組織図

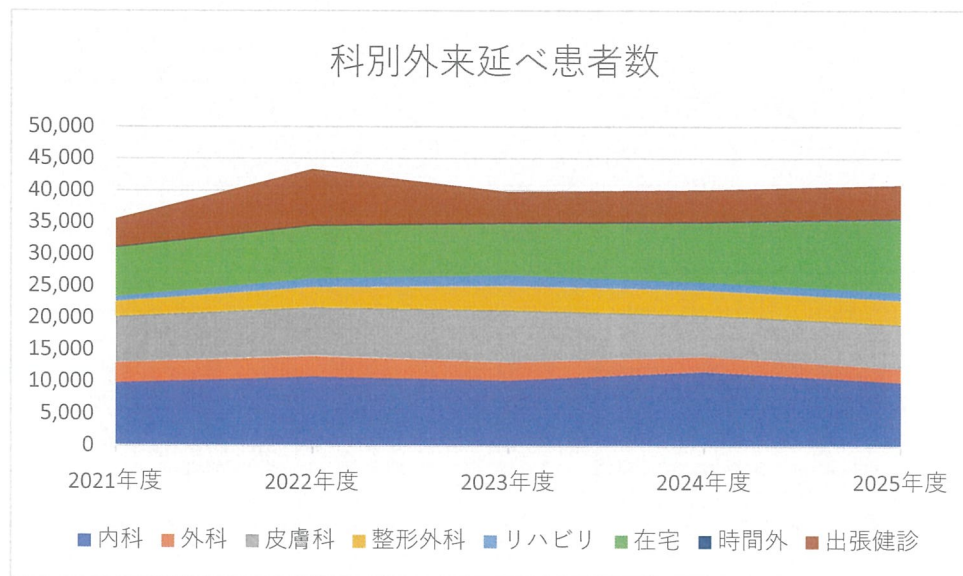
大仙病院



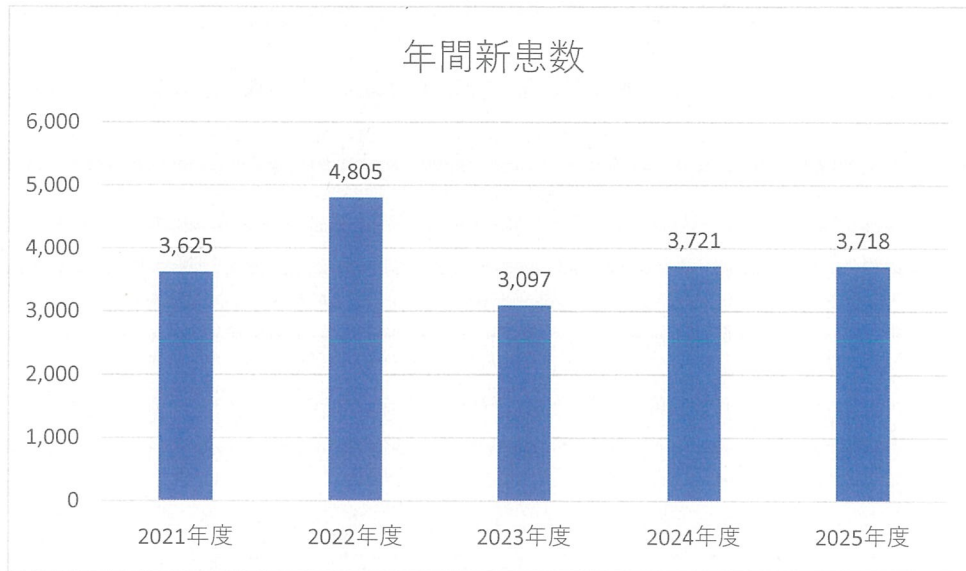
各種統計



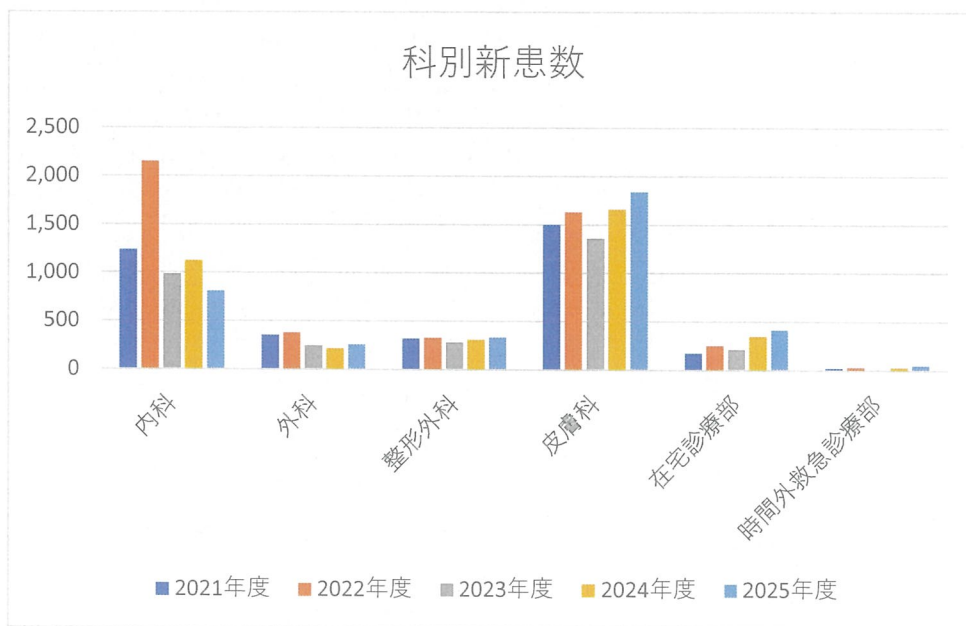
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
外来延べ患者数	35,577	43,413	39,871	40,195	39,625



科別外来延べ患者数	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内科	9,816	10,839	10,263	11,718	10,007
外科	3,158	3,237	2,860	2,295	2,178
皮膚科	7,199	7,592	8,086	6,529	6,889
整形外科	2,379	3,118	3,835	3,866	3,765
リハビリ	775	1,418	1,766	1,289	1,308
在宅	7,665	8,242	8,045	9,327	11,399
時間外	104	102	111	98	156
出張健診	4,481	8,865	4,905	5,073	5,231

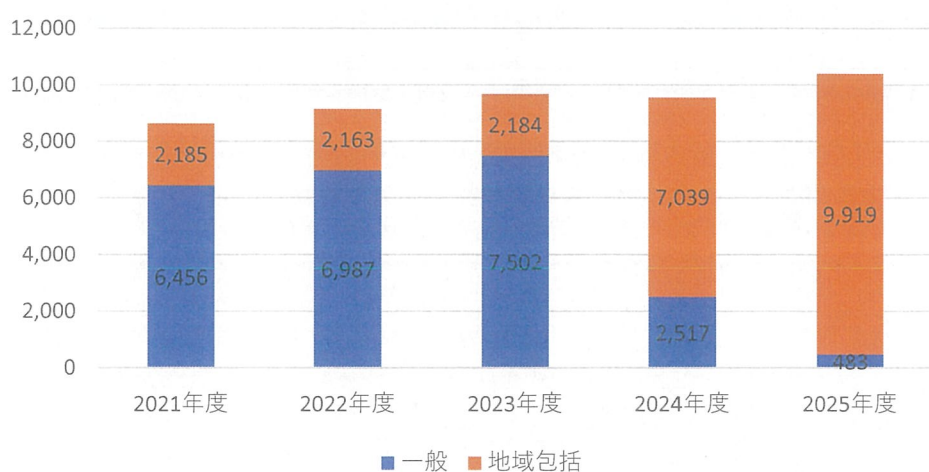


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
年間新患数	3,625	4,805	3,097	3,721	3,718



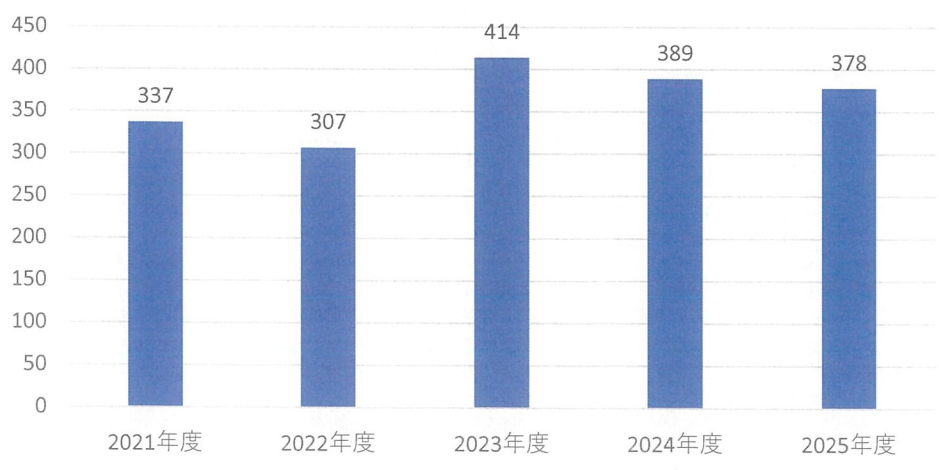
科別新患数	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内科	1,238	2,154	985	1,129	814
外科	358	386	245	221	262
整形外科	324	334	281	315	339
皮膚科	1,501	1,636	1,360	1,666	1,840
在宅診療部	178	258	213	354	417
時間外救急診療部	26	37	13	36	52

入院延べ患者数



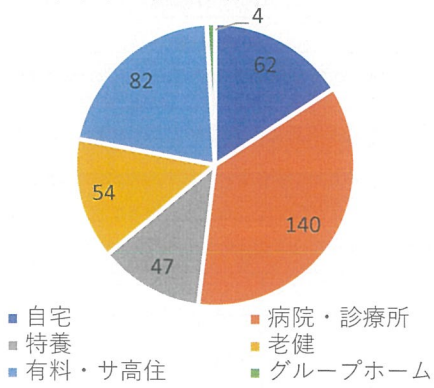
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一般	6,456	6,987	7,502	2,517	483
地域包括	2,185	2,163	2,184	7,039	9,919
入院延べ患者数	8,641	9,150	9,686	9,556	10,402

新入院患者数

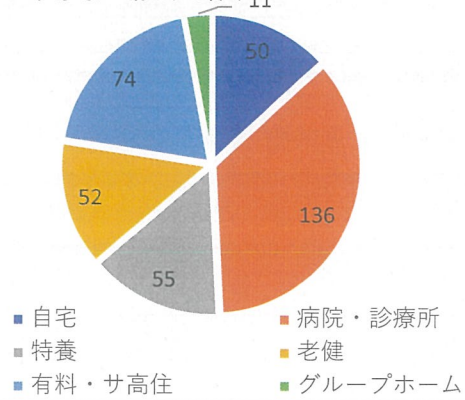


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
新入院患者数	337	307	414	389	378

2024年度入院内訳

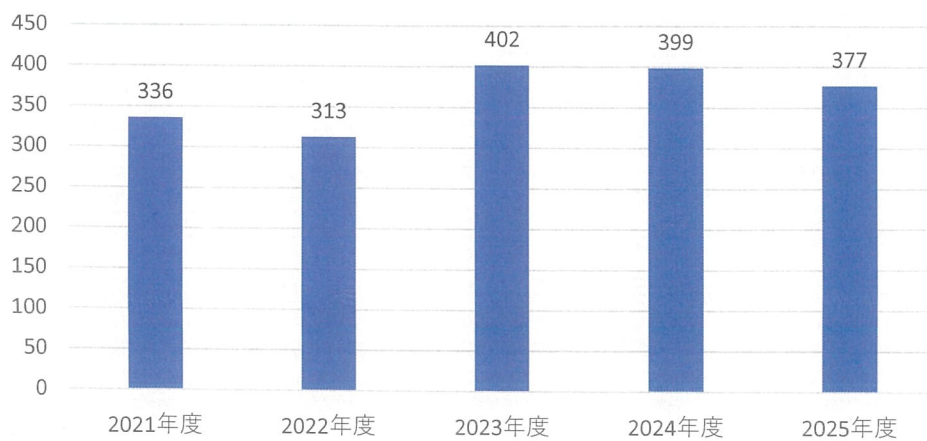


2025年度入院内訳



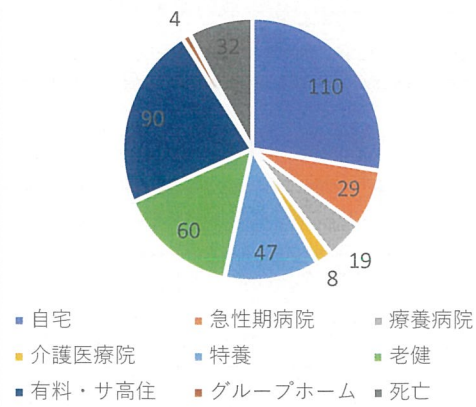
入院内訳	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
自宅	63	62	77	62	50
病院・診療所	77	72	170	140	136
特養	20	19	18	47	55
老健	102	72	57	54	52
有料・サ高住	72	69	82	82	74
グループホーム	3	12	10	4	11

退院患者数

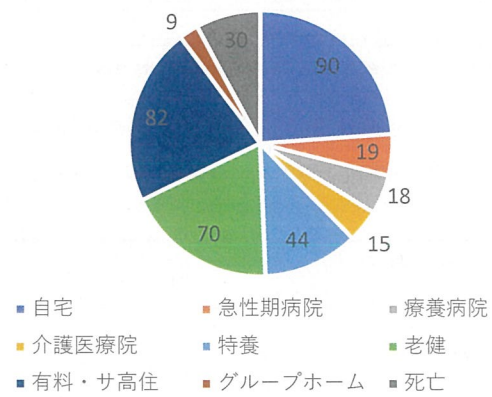


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
退院患者数	336	313	402	399	377

2024年度退院内訳

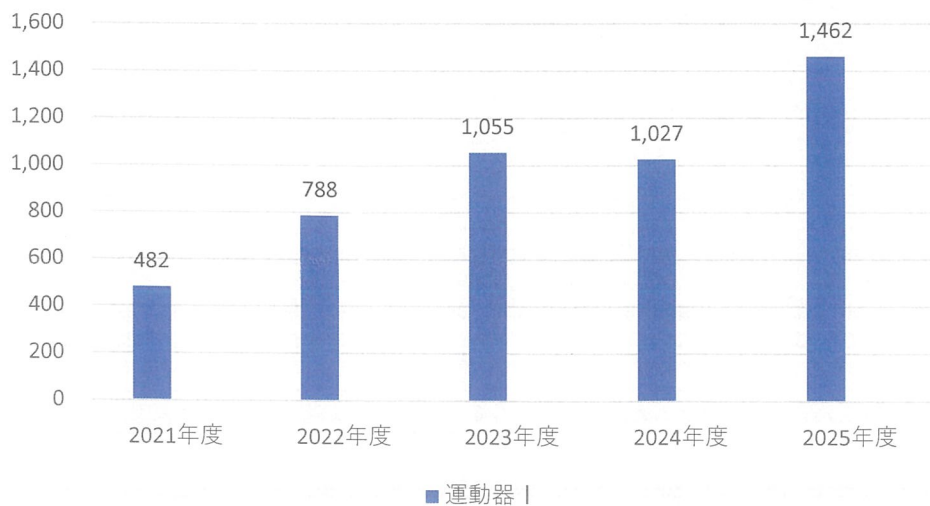


2025年度退院内訳



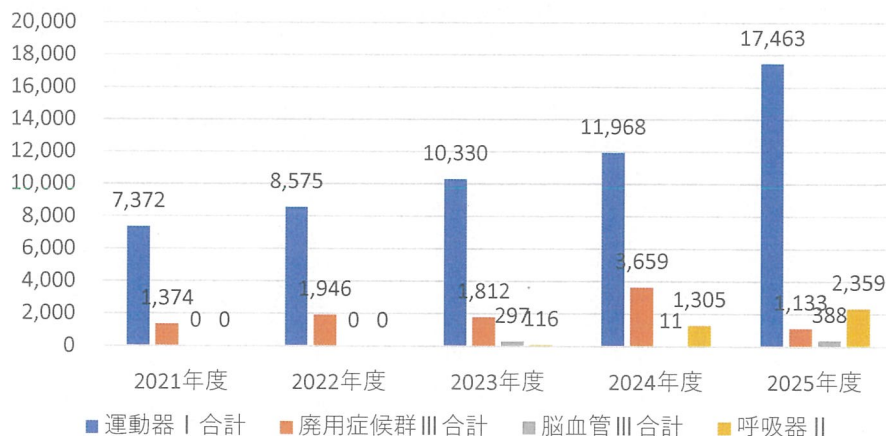
退院内訳	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
自宅	87	71	129	110	90
急性期病院	22	15	33	29	19
療養病院	16	31	31	19	18
介護医療院	0	1	0	8	15
特養	16	14	19	47	44
老健	92	71	68	60	70
有料・サ高住	59	66	78	90	82
グループホーム	4	7	11	4	9
死亡	40	33	33	32	30

リハビリテーション実施単位数 (外来)



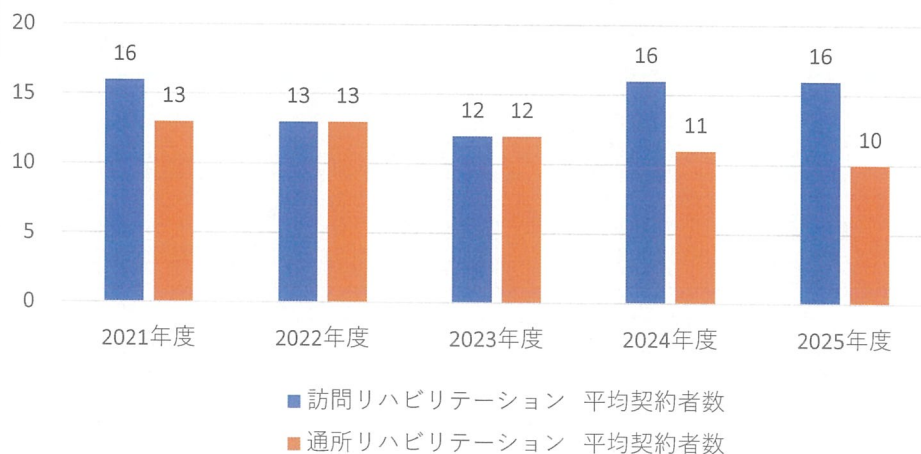
リハビリテーション実施単位数 (外来) 5年間	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
運動器 I	482	788	1,055	1,027	1,462

リハビリテーション実施単位数（入院）

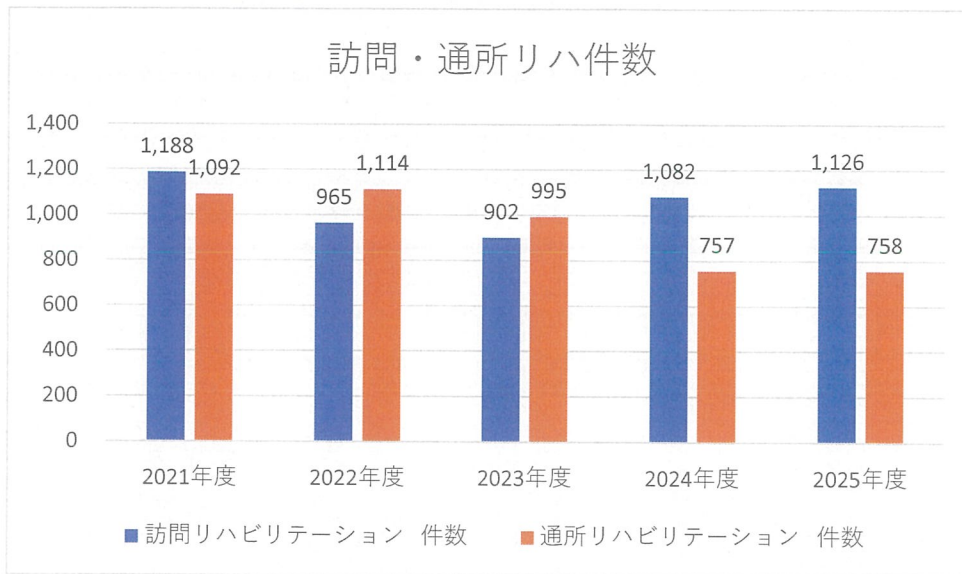


リハビリテーション実施単位数（入院）5年間	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
運動器Ⅰ合計	7,372	8,575	10,330	11,968	17,463
廃用症候群Ⅲ合計	1,374	1,946	1,812	3,659	1,133
脳血管Ⅲ合計	0	0	297	11	388
呼吸器Ⅱ	0	0	116	1,305	2,359

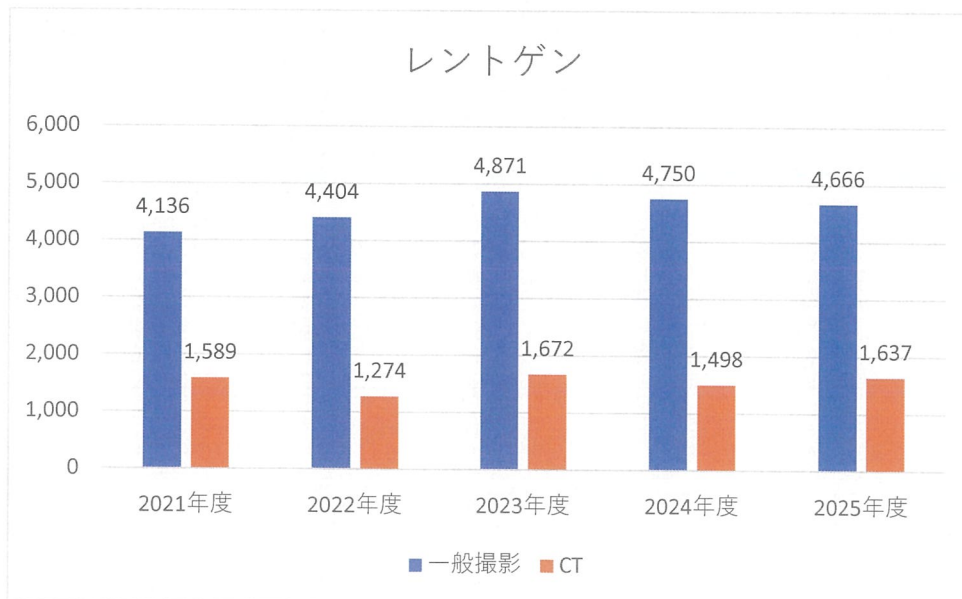
訪問・通所リハ契約者数



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
訪問リハビリテーション 平均契約者数	16	13	12	16	16
通所リハビリテーション 平均契約者数	13	13	12	11	10

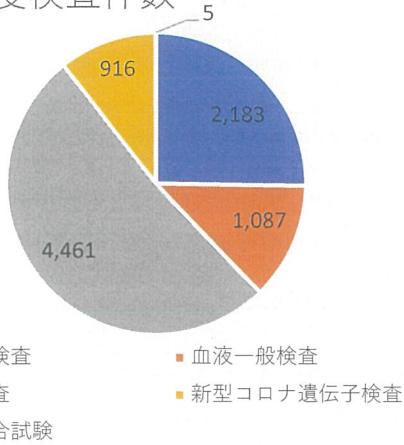


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
訪問リハビリテーション 件数	1,188	965	902	1,082	1,126
通所リハビリテーション 件数	1,092	1,114	995	757	758

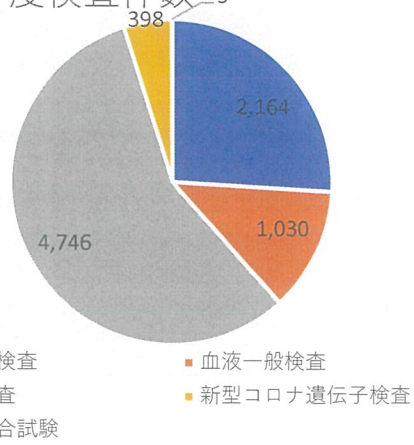


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一般撮影	4,136	4,404	4,871	4,750	4,666
CT	1,589	1,274	1,672	1,498	1,637

2024年度検査件数

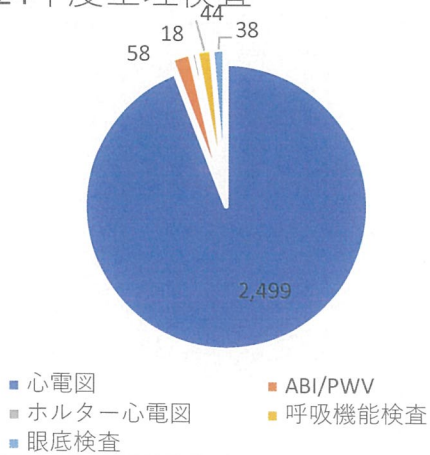


2025年度検査件数

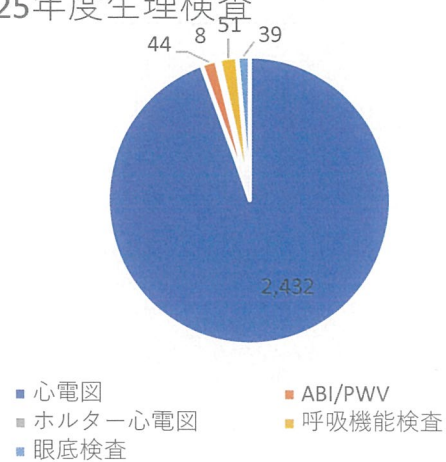


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
生化学検査	2,355	1,848	2,102	2,183	2,164
血液一般検査	1,214	983	1,228	1,087	1,030
一般検査	2,800	3,057	4,021	4,461	4,746
新型コロナ遺伝子検査	601	1,186	1,171	916	398
交差適合試験	8	16	20	5	5

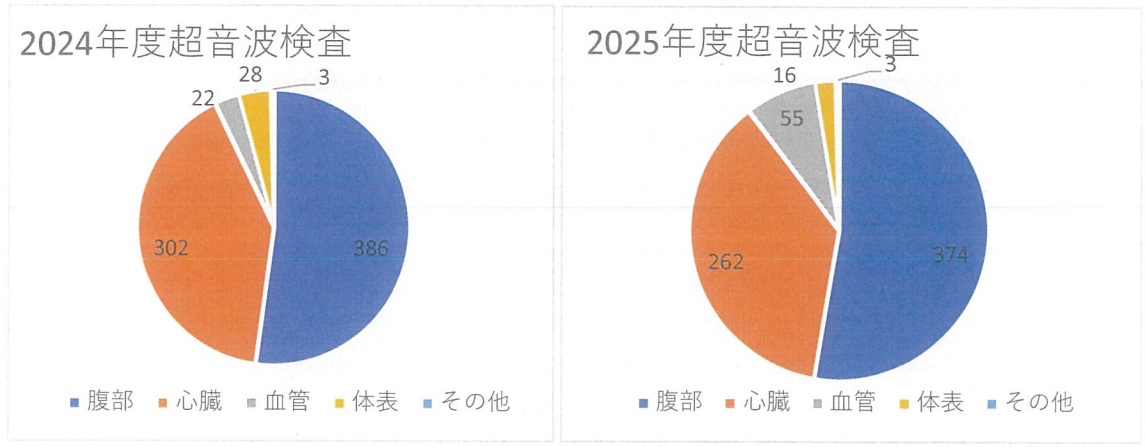
2024年度生理検査



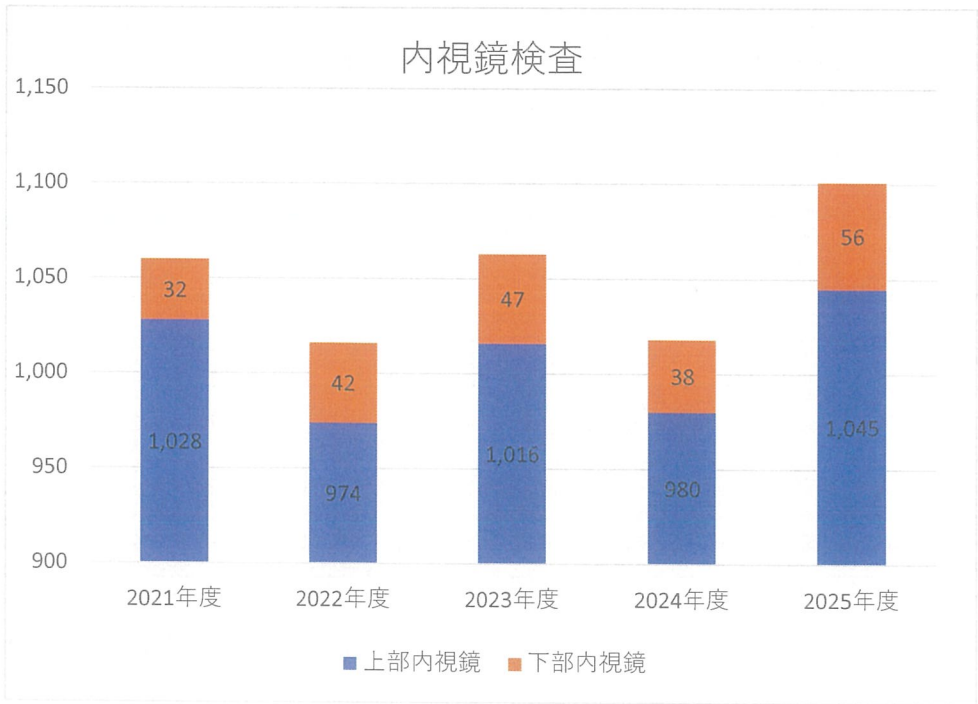
2025年度生理検査



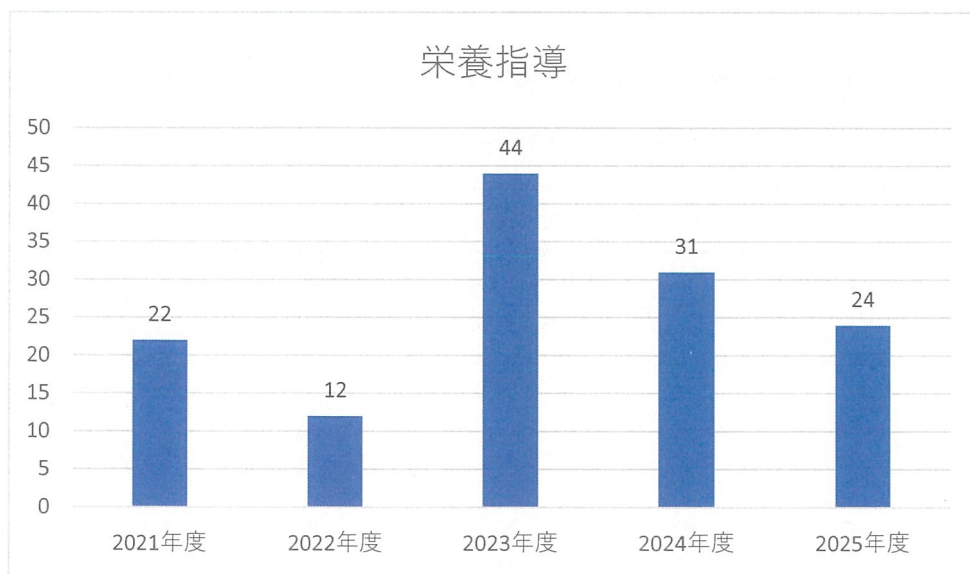
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
心電図	1,975	2,059	2,429	2,499	2,432
ABI/PWV	76	28	81	58	44
ホルター心電図	8	16	20	18	8
呼吸機能検査	1	0	42	44	51
眼底検査	79	12	28	38	39



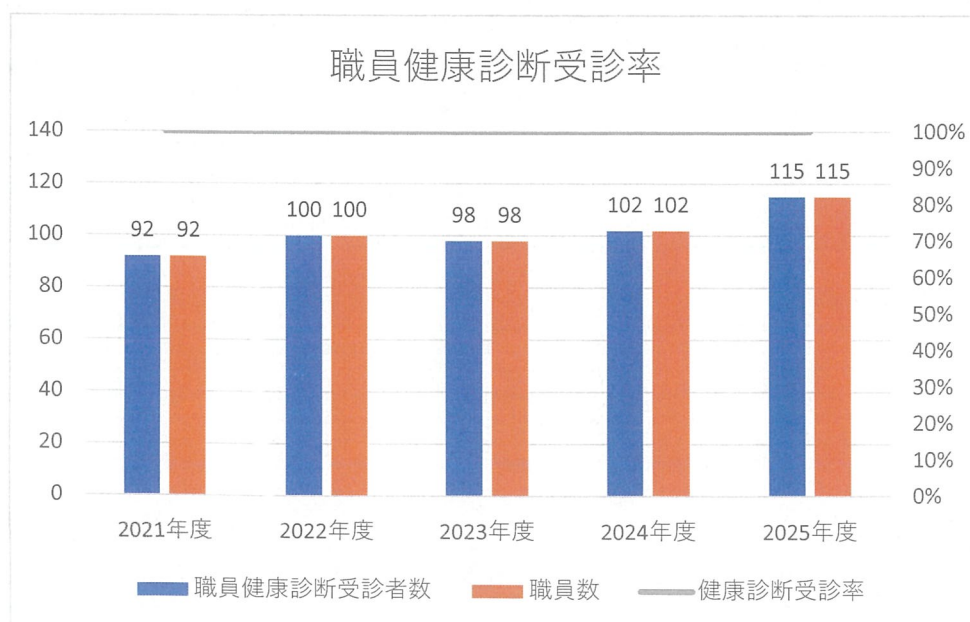
超音波検査	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
腹部	330	311	466	386	374
心臓	247	247	396	302	262
血管	49	81	58	22	55
体表	21	14	11	28	16
その他	5	5	11	3	3



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
上部内視鏡	1,028	974	1,016	980	1,045
下部内視鏡	32	42	47	38	56

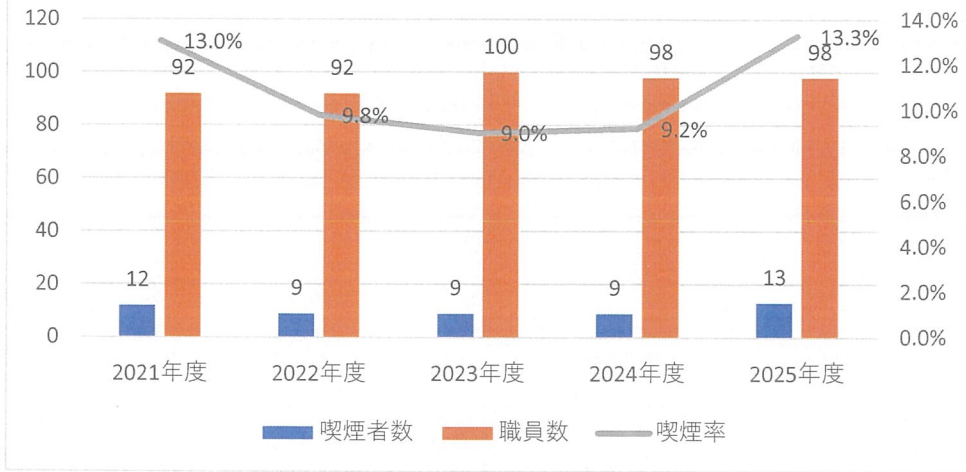


	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
栄養指導	22	12	44	31	24



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
職員健康診断受診者数	92	100	98	102	115
職員数	92	100	98	102	115
健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	100%

職員喫煙率



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
喫煙者数	12	9	9	9	13
職員数	92	92	100	98	98
喫煙率	13.0%	9.8%	9.0%	9.2%	13.3%

【医局】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

院長：1名

常勤医師：7名

非常勤医師：29名

動向 令和7年度活動報告

【今年度の成果と反省】

全体 6月に一般病床5床を地域包括ケア病床へ変更し、合計29床とした。これにより、入院から退院まで十分な時間を確保した。患者に寄り添う退院支援と、地域包括ケアシステムの構築を図った。また、他病院からの受け入れ体制を強化し、スムーズな連携に努めた。

内科 患者の待ち時間対策として、混雑状況に応じて1診体制から2診体制へ変更するなど、柔軟な対応を行った。

外科・整形外科 高齢患者特有の関節症や骨粗鬆症の治療を行い、理学療法士と連携して日常生活の指導にも関わった。

皮膚科 4月より新たに常勤医が着任し、診療体制が強化された。通院困難な患者への往診体制も強化したほか、近隣施設の疥癬(かいせん)蔓延に対しても、地域医療の観点から適切な対応を行った。

在宅診療 定期訪問に加えて緊急往診も対応した。また、病院受診時の送迎を行うことで、居宅・施設では難しい検査を実施し、在宅療養における安心感を提供した。

【来年度の目標】 令和8年4月より常勤の整形外科医が1名着任するに伴い、地域医療をさらに強化する。また、内視鏡検査日を増やして健診受診者数の増加と健康増進に努める。かかりつけ医としてこれまで以上に患者に寄り添った体制の構築を目指す。

【病棟】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

病棟師長	1名
病棟主任	1名
看護師	13名
准看護師	2名
看護補助者	6名

動向 令和7年度活動報告

病床稼働率 全体 95.0%

令和7年度 看護部

【病棟目標】

地域包括ケア病床のベッドコントロールを柔軟に行い、患者の意志を尊重した退院調整を行う。又自宅に帰る患者への継続したサポートとして訪問診療を促がす。その為には多職種とのカンファレンスを充実させ連携を強化させる。

【今年度の成果と反省】

6月より地域包括ケア病床を増床した事により退院調整に時間をかけて行う事が出来た。在宅復帰率は基準を達成する事は出来たが、訪問診療への移行は目標値の約60%となった。医療面では自宅への退院が困難なケースに対して患者や家族に居宅で生活出来る情報の提供や安心感を与えるサポートの工夫が必要であると考えている。

【来年度の目標】

地域包括ケア病床の運営を充実させる為、認知症患者への対応
身体拘束最小化への取り組みや歯科医との連携を取り入れ、患者のQOLを向上する事で自宅への退院を支援する。

外部研修参加状況・論文発表等

- ・看護補助者のための実務者研修（3名） 5月
- ・看護補助者のための管理者研修（2名） 7月・8月
- ・口から食べる支援技術における課題と人材育成 管理者編（2名） 7月
- ・口から食べる支援包括的食支援 スタッフ編（2名） 9月
- ・看護必要度（2名） 7月
- ・医療機器安全研修 8月
- ・認知症対応力向上研修（2名） 10月～1月
- ・医療安全推進指導者講習会 10月～3月
- ・在宅医療における褥瘡管理研修（2名） 11月

【外来】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

外来主任	1名
外来副主任	1名
看護師	6名（非常勤 3名）
准看護師	4名（非常勤 2名）
在宅担当看護師	1名

動向 令和7年度活動報告

令和7年度 看護部

【外来目標】

中小規模病院の外来患者数が減少傾向にある中、ひとりでも多くの患者に利用して頂く為に柔軟な対応を心がけ、かかりつけ医として一人ひとりの患者に寄り添ったケアを行う。

【成果と反省】

時間外への対応の工夫や市の無料検診の利用を促す事で、内科以外の患者の生活習慣病予防への定期的な受診に繋げていく事が出来ている。また、通院困難の場合は家族と相談の上、訪問診療を積極的に行うことにより需要が高まり新規訪問診療の患者増患率は達成した。その他、随時送迎車による対応で通院への負担を軽減させる取り組みを行い喜んで頂いている。

当院では看護学生実習の受け入れを行っている

大和大学白鳳短期大学部 地域在宅看護論実習

期間 2025年 5月 27日～28日 5名

2025年 7月 22日～23日 5名

【来年度の目標】

引き続き外来患者と向き合い、特に高齢者の通院に対してかかりつけ医として訪問診療の仕組みを理解してもらい必要とされる患者に安心した医療が受けられるように取り組んでいきたい。

外部研修参加状況・論文発表等

12月 災害医療基礎研修会

3月 大腸内視鏡前処置の基本 WEBセミナー

8月 下部内視鏡前処置・検査中の介助のコツ WEBセミナー

【薬剤科】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

構成人数	：	薬剤師	4名
役職者	：	薬局長	1名
他	：	薬剤師（常勤 2名 ・ 非常勤 1名）	

動向 令和7年度活動報告

【今年度の成果と反省】

薬剤科では、患者様に安全かつ最も効果的な薬物治療を提供することを目的に、医薬品の適正使用を推進してまいりました。すべての入院患者様に対して一包化調剤（1回分ずつを袋に分ける調剤）を実施し、服薬の利便性向上に努めました。また、持参薬など現在服用中の薬剤に関しても説明を行い、患者様の訴えや状態から薬の効果および副作用の確認を実施しています。入院患者の持参薬は残薬調整をすることで、お薬の管理状況を薬剤師が把握し、無駄な処方なくなるなど負担を軽減しています。加えて、検査データの確認を通じて副作用の予防および早期発見にも取り組んでおります。薬剤師のキャリアアップを支援し、幅広い業務に対応できるオールラウンドな人材育成に力を入れています。

反省点は、薬剤廃棄ロスの削減はすべて解消することは難しく、今後もこの課題を対策したいと思っております

【来年度の目標】

- ①薬剤廃棄ロスの削減と対策
- ②薬剤師の個々の能力を向上させる
- ③病棟薬剤師業務

Web 勉強会の参加

患者さんの未来を見据えたアトピー性皮膚炎治療（早期介入から寛解維持まで）
小児アトピー性皮膚炎の寛解導入治療（大塚製薬）
黄色ブドウ球菌感染症に対する抗菌薬治療の最前線（ミヤリサン製薬）
心不全発症予防を目指したStage A・Bへのアプローチ
～BNPによるスクリーニングと薬物治療の適正化～（大塚製薬/ノバルティスファーマ）
医療現場におけるRMP活用～薬の専門職が担う薬物療法の安全・安心～（大正製薬）
抗てんかん発作薬の基本と薬剤師のかかわり/てんかんと薬物療法ブリイビアクトへの期待
(ucb)
講演会COVID-19と間質性肺疾患/医師の処方選択肢を広げる薬剤部の取り組み（ファイザー）
その他、多数参加

【放射線科】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

構成人数	診療放射線技師 2名
役職者	副主任 1名
他	診療放射線技師(常勤) 1名

動向 令和7年度活動報告

<人員動向>

変動なし

<業務>

放射線科では、検査時に患者様に痛みやストレス、負担がかからないよう常に心がけています。患者様の負担を少しでも軽減させ、転倒・転落等の事故が起こることのないよう、安心して安全に検査を受けていただけるよう努めています。

- ① 一般撮影およびCT撮影、骨塩定量検査
- ② 健診バスでの出張健診
- ③ 施設入居者のための出張ポータブル撮影

日本の医療被曝は他の国よりも多いと言われているので「日本の診断参考レベル」という基準をもとにCTの被曝の低減と質の維持向上に努めています。

<今年度の成果>

昨年度の目標としていた撮影条件の見直しを行い被ばく線量低減を行った。

<反省点>

装置の老朽化が顕著になってきている。装置の更新も検討する必要がある。

<来年度の目標>

来年度から常勤で整形外科医が来られるので、外来・病棟での安定した画像提供を行って、医師と共に病院の整形外科を盛り上げていきたい。

【検査科】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

構成人数	：	臨床検査技師	3名
役職者	：	主任	1名
他	：	臨床検査技師（常勤）	1名
		臨床検査技師（非常勤）	1名

動向 令和7年度活動報告

人員動向： 変動あり（所属部署変更1名あり）

業務： 検体検査（生化学検査、血液検査、輸血検査、一般検査、迅速検査）
 生理検査（心電図、呼吸機能、ABI・PWV検査、超音波検査、眼底検査）
 遺伝子検査（コロナウイルス等温核酸増幅法）
 ＊大阪府医師会精度管理に参加。
 ＊日本臨床検査技師会精度管理に参加。

実績（院内検査2025.4～2026.3）

検体検査	生化学検査	血液一般検査	一般検査	新型コロナ 遺伝子検査	
	2164	1030	4746	398	
輸血検査	交差適合試験	使用製剤	Ir-RBC-LR	FFP-LR	Ir-PC-LR
	5	(単位)	11	0	0
超音波検査	腹部	心臓	血管	体表	その他
	374	262	55	16	3
生理検査	心電図	ABI/PWV	ホルター心電図	呼吸機能	眼底
	2432	44	8	51	39

【今年度の成果】

今年度は心臓領域の超音波検査が昨年度より17%減少し、血管エコーは2.5倍となった。
 他の血液検査、生理検査はほぼ横ばいに推移している。

【来年度の目標】

来年度は自己研鑽に励み、外来患者様の状態把握や病状悪化予防の検査提案を積極的に
 推し進めていけるように努力したい。

外部研修参加状況・論文発表等

- ・2025年5月30日～2025年6月1日 日本超音波医学会第98回学術集会WEB参加
- ・2025年9月1日～ WakoWebセミナー「RCPC」
- ・2025年11月1日～ WakoWebセミナー「ASTとして考える抗真菌薬の適正使用」
- ・2025年12月4日～ HUFセミナー「骨髄腫とMGRSに関連した腎障害とFLC検査について」(WEB)

【リハビリテーション科】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

常勤理学療法士 7名（時短勤務0名）、非常勤理学療法士 0名

常勤作業療法士 1名（時短勤務0名）、非常勤作業療法士 0名

役職者：副主任 1名

動向 令和7年度活動報告

人員：令和7年4月1日 常勤理学療法士1名が入職となる

業務：病院の令和7年度目標として、① 地域包括ケア病床の有効活用 ②外来診療の充実・増患・増収 ③主治医（かかりつけ医）の推進在宅・訪問診療の強化のため 部署内で以下の目標を設定する。

①地域包括ケア病床の有効活用（稼働率90%以上、1名当たり60万円売上計上）

②院外研修会参加（年間12件）

③院内研修会参加（アンケート、研修会参加率100%）

【今年度の成果と反省】

①に関しては、年間1月1名当たりの売上は約570,537円であり、約29,463円不足していた。下半期では目標売上以上であったが、上半期で目標売上まで達成することが出来なかったため上半期の分を補うことが出来ず、年間通して目標達成をすることが出来なかった。

②に関しては、年間12件目標であったが、8件であったため4件足りなかった。上半期6件下半期2件であり、下半期に院外研修会を参加する機会が少なくなってしまう、目標達成することが出来なかった。

③に関しては、毎月部署内で研修会に1人以上は参加し、参加出来なかったスタッフは全員アンケートを提出することが出来たため目標を達成することが出来た。

【来年度の目標】

来年度の部署内目標として、以下のように設定した。

①地域包括ケア病床の有効活用（稼働率90%以上、1名当たり60万円売上計上）

②外来単位数増加（1ヶ月平均350単位以上）

③地域包括ケア病棟リハビリテーション・栄養・口腔連携加算取得を目指す
（休日リハ実施割合：7割以上、3日以内にリハ介入6割以上）

外部研修参加状況・論文発表等

外部研修参加：年間8件（①PT・OTのための機能解剖学から診る肩関節炎のリハビリ ②体幹機能の評価と治療について ③体幹機能リハビリ触診と評価編 ④運動器・脳血管疾患 基礎知識と実技 ⑤肩関節のリハ 基礎知識と治療手技 ⑥運動器・脳血管疾患 基礎知識と実技 前腕 ⑦運動器・脳血管疾患 基礎知識と実技 手 ⑧膝関節の可動域制限 基礎知識と徒手習得）

【栄養科】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

副主任 管理栄養士 1名

動向 令和7年度活動報告

【業務】

給食管理(献立作成・衛生管理)

栄養管理(大仙病院での栄養基準作成・栄養管理計画書作成・栄養指導)

【今年度の成果と反省】

今年度は在宅患者様のお宅へ訪問し、栄養指導を行った。普段の生活環境が分かることで、患者様に合わせた具体的な指導を行えた。

【来年度の目標】

多種職のスタッフとカンファレンスやラウンドを行い、入院患者様の状態を把握し、栄養状態を良くしていけるように、一人一人に合った食事を提供していきたい。

外部研修参加状況・論文発表等

在宅で最後までその人らしく〈在宅栄養管理に必要な意思決定支援と共感力〉webセミナー

質の高い睡眠を得るための食生活 webセミナー

静脈栄養の現実と本来あるべきカタチ webセミナー

生活習慣を変えるには？ webセミナー

さまざまライフステージにおけるオメガ3系多価不飽和脂肪酸の役割 webセミナー

【地域連携室】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

社会福祉士 2名

動向 令和7年度活動報告

業務内容

地域連携室では患者様・ご家族からの相談を受けて面談を行い入院や転院の調整、生活上の問題を把握し、安心して生活ができるように社会資源の活用や他の専門職と連携をとりながら様々な支援をおこなっている。

〈前方支援業務〉

- ・ 地域医療機関との連絡調整
- ・ 他医療機関への紹介（受診・検査の予約）（転送依頼）
- ・ 入院日程等の調整
- ・ 連携医療機関に関するデータ管理

〈後方支援業務〉

- ・ 退院支援
- ・ 介護保険・福祉制度に関する説明・相談
- ・ その他各種相談
- ・ 医療機関・関係機関との連絡調整
- ・ 院内カンファレンスへの参加
- ・ 退院調整に関するデータ管理

【今年度の成果・反省】

地域の医療機関との密な連携・挨拶まわり、交流会に参加し、連携強化することで、安定した入院依頼件数を頂けた。

入院時から退院後を見据えた支援を医師・看護師・福祉サービス・施設と連携を行ったことで在宅復帰率を高い水準で維持出来た。

ある程度の入院依頼を頂けていたにも関わらず、薬価の高さや病状的に当院で受け入れ困難な症例があり、入院へ繋げることが出来なかった依頼が多数あった。

【来年度の目標】

他部署との連携を強化し積極的にカンファレンスを実施していくことで業務内容の質の向上を目指す。

入院患者のケアマネとも密接に連携し在宅復帰、また当院の在宅患者の増加に繋げていきたい。

令和7年度の地域連携室における紹介・逆紹介件数（外来・入院含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
紹介	26	26	19	22	25	17	
逆紹介	20	22	14	15	17	17	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
紹介	25	16	32	27	27	25	計 287件
逆紹介	24	21	20	17	9	13	計 209件

【医事課】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

構成人数：14名

役職者：課長1名

主任1名

副主任2名、リーダー1名

他常勤4名、非常勤5名

動向

令和7年度活動報告

【今年度の成果と反省】

令和7年度は、地域包括ケアシステムの推進を目的として、病床再編および在宅医療体制の強化に重点的に取り組んだ。

病床機能においては、24床の地域包括ケア病床と6床の一般病床を見直し、29床の地域包括ケア病床と1床の一般病床へ再編を実施した。これにより、地域包括ケア病床の有効活用を進めるとともに、病病連携・病診連携の強化につなげることができた。さらに、一般病床1床を在宅患者専用病床として運用し、在宅患者が急変時にも速やかに入院できる体制を整備したことで、在宅医療支援機能の充実を図ることができた。

在宅医療分野では、送迎部門を新たに立ち上げ、入退院支援の円滑化を実現した。また、自院救急車を活用した送迎対応を可能とし、急病時にも柔軟な対応が行える体制を整備した。加えて、皮膚科専門医による訪問診療を拡充し、施設入所中の患者を含めた在宅患者への専門的医療提供体制を強化することができた。

職員教育については、毎月勉強会を開催し、診療報酬請求に関する知識向上と職員全体のスキルアップを図った。また、新人教育では約1か月間のマンツーマン指導を実施し、安心して業務習得ができる教育体制の構築に努めた。

返戻対策としては、オンライン資格確認の徹底およびマイナ保険証利用促進を行った結果、前年平均38件であった返戻件数を今年度平均20件まで減少させ、令和8年3月診療分では9件まで削減することができた。

一方で、病床再編後の地域包括ケア病床のさらなる稼働率向上や、在宅患者増加に伴う人的体制整備については今後の課題として残った。また、返戻件数は減少したものの、更なる請求精度向上と業務標準化を進める必要があり、継続した職員教育および確認体制の強化が必要である。

【来年度の目標】

令和8年度診療報酬改定にかかる、適切な加算等の算定を行う。

地域包括ケア入院医療管理料1の算定維持。

在宅部門のさらなる充実・強化。

外部研修参加状況・論文発表等

- ・「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」参加
- ・私立病院協会事務長会 研修参加

【健診課】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

職員 7名

役職者 副主任1名

健診事業従事スタッフ 医師・看護師・検査技師・放射線技師（兼任）・事務員

動向

令和7年度活動報告

業務：出張企業

【今年度の成果】

①新規検診企業の開拓

（出張）

新規企業： 10 件

健診者数： 380 名

（来院）

新規企業： 12 件

健診者数： 65 名

②健康診断料の見直し

③生活習慣病予防健診（協会けんぽ）への移行の推進

①～③の要因により

前年度売上比106.3%

【今年度の反省】

①生活習慣病予防健診（協会けんぽ）胃検査受診率の低下

【来年度の目標】

①生活習慣病予防健診（協会けんぽ）への移行の推進

②二次健診及び要治療者、大仙病院（かかりつけ医）への推奨促進

③今年度売上比102%

【支援センター】

スタッフ構成

令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

介護支援専門員 4名 うち主任介護支援専門員 1名
〈資格〉 主任介護支援専門員1名、介護福祉士2名、歯科衛生士1名

動向 令和7年度活動報告

【実利用者数】

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	105	103	101	97	92	92	99	95	100	96	98	95	1173
介護予防	61	58	60	58	58	58	61	61	59	59	58	59	710
合計	166	161	161	155	150	150	160	156	159	155	156	154	1883

【事業目標】

- ・法令遵守のもと利用者の自立支援・重度化予防に向けた支援を行います。
- ・地域の関係各機関、同法人大仙病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、介護サービス事業所との連携を図り、利用者の満足と信頼を得られるような業務を遂行していきます。
- ・相談のしやすい職場環境を作り、人材育成に努めます。
- ・個人情報の保護に努めます。
- ・特定事業所加算Ⅱの算定要件を遵守していきます。
- ・年間研修計画をもとに研修会に参加し、職場のスキルアップを図る。また、事例検討・業務検討会議を定期開催し、介護支援専門員としての必要となる知識や技術を取得します。

【研修内容】

- 事業所内会議 : 週1回開催
- 事業所内研修 : 他法人との事例検討会（7月、10月 2回開催）
オンライン研修会（7月、9月、1月、2月、3月 5回参加）
福祉用具事業所主催勉強会（10月、11月、1月 3回開催）
法人内勉強会（毎月1回 参加）

外部研修参加状況・論文発表等

【外部研修・勉強会】

西区介護支援専門員連絡会（地域包括支援センター主催）研修
（4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月2回、1月2回、3月 計11回 参加）
スキルアップのための個人的研修受講（オンライン開催含む）
（7月、8月、11月、12月2回、1月2回、2月、3月 計9回 参加）

【今年度の成果】

個々のスキルアップを図れたことで、多職種との連携にも対応し、安定した業務が行えるようになっていく。

【反省】

高齢者虐待防止研修には、積極的に参加をすることができ、個々のスキルアップ研修にも参加ができた。事務作業に時間を費やすことが多く、効率化を図れる環境作りに努めていく。

【来年度の目標】

法人内の介護サービス利用者を増やし、紹介から利用につながる確率を上げていく。退院支援時の在宅サービス導入時に協力し、大仙病院との連携を強化していく。

【訪問看護ステーション】

スタッフ構成 令和7年4月1日現在のスタッフ構成（役職、資格、人数）

スタッフ構成数	：訪問看護師	4名	
役職及び資格	：管理者兼訪問看護師	1名	（うち介護支援専門員1名 助産師1名）
	：訪問看護師	3名	

【動向】 令和7年度活動報告

【人員動向】

令和7年7月 常勤理学療法士 1名増員

令和8年1月 常勤看護師 1名入職

令和7年度看護師常勤換算:4.05

【実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
訪問者数（人）	34	36	36	38	39	42
訪問件数（件）	294	290	269	246	293	311
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問者数（人）	40	41	50	47	44	43
訪問回数（件）	312	280	414	306	363	339

在宅看取り件数：8名 （訪問看護ターミナル療養費算定 7名）

グループホーム：3施設

看護学生実習受け入れ: 3校 16名

【今年度の成果と反省点】

7月より理学療法士1名が増員し、訪問看護ステーションとしての訪問リハビリ開始。訪問リハビリの依頼が増加し、利用者数増加につながった。理学療法士1名体制では受け入れ人数に限りがあり、今後リハビリスタッフの増員等体制強化が必要。
令和8年1月常勤看護師1名入職。常勤換算数4.8に向けて人員の安定化を目指す。

【来年度の目標】

訪問リハビリスタッフの人員確保、新規利用者獲得。
看護師常勤換算全国平均5～6を目指し安定した訪問看護ステーション運営につなげる。

【外部研修参加状況・論文発表等】

令和7年7月19日 ACP支援実践人材育成研修

令和7年11月26日 「決断」を支える看護力～患者・家族の心に寄り添う意思決定支援セミナー

令和7年12月22日 令和8年診療報酬改定セミナー

令和8年2月14日 在宅医療における災害対策研修会

令和8年2月20日 コミュニケーションスキル・トレーニング研修 等